

旭中学校不祥事根絶に向けた対応策

項 目	対 策
①面談時等の指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ○複数での対応をします。 ○個人対応となる場合は、管理職への事前・事後報告します。 ○生徒の了承を受け、入口を開ける等、外から見える環境を確保し、密室状態を作らないようにします。
②空き教室や教科等準備室	<ul style="list-style-type: none"> ○棚の上等に不要なものは置きません。 (整理整頓) ○月1回の安全点検において、必ず棚の上等を確認し、不審なカメラ等置いていないか確認します。 ○管理職等による定期的な確認をします。
③学校内研修内容の充実 (自分事として捉えることの意識づけ)	<ul style="list-style-type: none"> ○「One IBARAKI」、「教職員懲戒処分等の指針」、「鹿行教育事務所だより」「不祥事防止のためのチェックリスト」等の活用・確認をします。 ○随時不祥事に関する情報を全職員で共有し、不祥事防止に向けた具体的な注意箇所や管理体制の意見交換を図ります。
④児童生徒との関わり (SNSや学校外含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○SNSでの児童生徒及び保護者との私的なやり取り等を原則禁止します。 ○生徒の主体性を尊重し、生徒との会話を大切にします。 ○アンガーマネジメントや教育相談等の研修を充実させ、不適切な関わりを防止します。
⑤ ストレスを溜め込ませない、孤立させない環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○校長のリーダーシップのもと、風通しのよい職場づくりを目指します。 ○教職員同士の情報共有、コミュニケーションを積極的に行います。 ○互いに感謝、尊敬の気持ちをもって、仕事をします。
⑥児童生徒、保護者からの情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ○「生命(いのち)の安全教育」を推進します。性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないための教育と啓発をすすめます。 ○個人情報保護を徹底し、匿名性への配慮や相談しやすい窓口づくりを進め、生徒・保護者からの情報収集体制を整備します。

私たちは、教員間の情報共有を図り、お互いの健康を保つとともに生徒の安全を守ります。

令和8年4月6日
旭中学校教職員一同